

大分川の河川空間を活用していただける 事業者を募集しています

募集概要

大分市では、大分川の河川空間を生かした水と緑のオープンスペースを生かして、かわとまちが一体となった賑わいづくりの取組み、「かわまちづくり」を進めています。

その主要プロジェクトとして、官民連携による河川空間のオープン化を目指しており、民間事業者の皆さまが試験的に事業・活動を行うことができる社会実験を実施します。

水辺の魅力を活かし、事業機会の創出や収益確保、地域貢献への意欲ある皆さまのご参加をお待ちしています。

※応募等の手続きについては、「大分川下流域かわまちづくり社会実験募集要項」をご覧ください。

公募期間

2024年2月29日～2025年2月20日

社会実験期間

- ①大分川下流域かわまちづくり推進部会が開催するイベントの期間 ※1
- ②2024年3月9日～2025年3月31日の中で事業者が希望する期間 ※2

使用料等

無料 ※3

対象エリア

大分川左岸周辺の河川敷及び水面 ①宗麟大橋周辺エリア ②舞鶴橋～弁天大橋エリア



- ※1 大分川下流域かわまちづくり推進部会で開催するイベントに併せての参加となります。(開催日や内容については別途お知らせします)
- ※2 原則午前8時～午後6時までの時間内で、事業者が希望する時間帯
- ※3 ただし河川区域内で一時占用を行う場合は占用料が必要な場合があります。


令和6年度は四季のイベントを開催予定 社会実験へのご参加をお待ちしています

※詳細な日程等は別途お知らせします。

おおいたかわまちリバーフェスタ 開催スケジュール (予定※)

Event Schedule

主催：大分川下流域かわまちづくり推進部会

R5年度		R6年度			
3月	4月	5月	6月	7月	8月
お花見マルシェ					
					

R6年度					
9月	10月	11月	12月	1月	2月
水辺アクティビティ イベント		キャンプイベント		たき火イベント	
					

イベントの最新情報や
これまでの取り組み
などについて紹介中！



公式Webサイト



Instagram

▲二次元コードをクリックすると
リンク先に飛べます

R5年度 社会実験「おおいたかわまちリバーフェスタ」2023.9.3.



公募で募った民間事業者等によるキャンプ体験やカヌー・SUPなどの水辺アクティビティ、マルシェ等のアウトドアイベントを開催。宗麟大橋と舞鶴橋付近の2つの会場で実施し、会場間をグリーンスローモビリティが運行しました。

当日は延べ約800人が来場し、大分川でのアウトドア体験を楽しみました。

社会実験参加までの流れ

問い合わせ (※詳しい説明)

ヒアリング①
(実施内容、ビジョン等)

応募
(※応募資格は応募要項参照)

審査
(※・審査基準は応募要項参照
・かわまち推進部会で審査)

ヒアリング②
(※実施にあたっての協議、調整等)

選定通知書

社会実験に向けた準備～実施

実施報告・アンケート
(※実施結果のフィードバック)

官民連携事業による河川空間のオープン化が 全国で続々増加しています

募集の背景

河川敷地の占用は、原則として公的主体（地方公共団体等）に許可され、営業活動を行うことができませんが、地元市町村等の地域の合意が得られた場合には、特例として公的主体とともに民間事業者等についても河川敷地の占用許可を受けることにより、オープンカフェやバーベキュー場などの営業活動を行うことが可能になります。

河川管理者である国（国土交通省）と市町村、及び民間が連携し、河川空間に賑わいを生み出す官民連携事業は、公共資産の有効活用やコスト削減、地域活性など、様々な効果が期待できます。

今後の地域経済の持続的な発展に向けて、大分市も官民連携手法の積極的な導入検討を進めています。

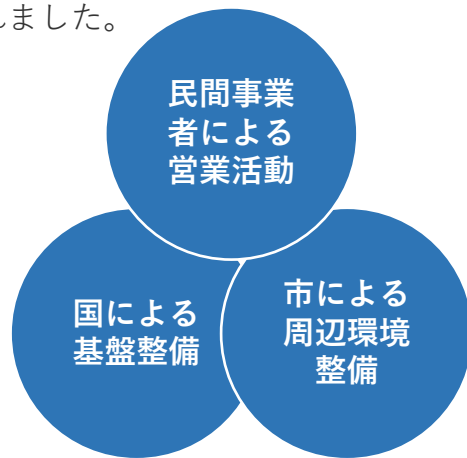
【事例1】 関上かわまちづくり事業

名取川（宮城県名取市）

名取川河口を臨む気持ちのいい空間に「かわまちてらす関上」や「名取市震災復興伝承館」をはじめとする賑わい拠点が整備され、魅力的な観光拠点が形成されています。令和元年度より2か年の社会実験として試験的に営業行為を行った結果をもとに国へ区域指定を要望し、令和3年3月に「都市・地域再生等利用区域」に指定されました。



写真出典：「かわまちづくり」WEBサイト
（国土交通省）



【事例2】 白川かわまちづくり事業

白川（熊本県熊本市）

親水性に配慮した白川の水際の散策路「緑の区間」が完成した平成27年、水辺の新しい可能性を探る社会実験を実施。水辺の演奏会やマルシェなど、4日間で1万人を集め大盛況でした。その後、地元有志が「株式会社ShirakawaBanks」を立ち上げ、「緑の区間」を活用した事業に参画。令和元年から「白川夜市」や「白川野宿」「白川BBQ」など様々な事業を運営しています。



大分川の河川空間活用には 様々なメリットがあります

魅力ある水辺空間を安価に活用できる

- 1 人の暮らしに欠かせない水を豊かに湛えた大きな河川は、古来から人々が集う賑やかな場所でした。歴史的にも人の営みに活力を生み、**希少かつ多様なポテンシャルを持つ自然豊かな水辺空間を試行的に無料で活用できます。**（ただし河川区域内で一時占用を行う場合は占用料が必要な場合があります。）

事業可能性を測るお試しチャンス

- 2 今回の社会実験参加により、**事業創出の利点や課題、中長期的な事業収益化への具体的な検討が可能**になり、ビジネス面における将来ビジョンの構築にも役立ちます

立地条件の良さ

- 3 「大分川下流域」は、大分市中心市街地や国道10号に隣接し、JR大分駅から車で約10分。河川敷や堤防はウォーキングやサイクリング、水面はカヌー等の利用者も多い**好立地**で、様々な団体も活動しており、**社会実験期間中もイベント等が予定**されています。

大分市と周辺エリアの将来的な発展性

- 4 2030年（令和12年）は大友宗麟公生誕500年にあたり、近隣の「大友氏遺跡」整備も令和12年度に事業完了予定など、今後は更に大分市への観光需要が高まっていくと想定され、大分川の河川空間の利活用は**大きな事業チャンスを生むきっかけ**となります。

充実の支援体制

- 5 実施に向けて、**河川管理者（国）や大分市がサポート**いたします。
毎月20日締の応募者を対象に、毎月末に審査を行って候補者を選定しますので、ご興味を持たれましたら**お早めに、お気軽にご相談**ください。

知恵を
出し合う

制度を
使いこなす

水辺を
使い倒す



問合せ先

大分市河川・みなと振興課（大分川下流域かわまちづくり推進部会 事務局）
TEL (097) 537-5632 FAX (097) 532-7545 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
kasen@city.oita.oita.jp